

水球のまち柏崎からみんなで水球を元気にしたい!

—ふるさと納税で柏崎から 2020 東京オリンピック日本代表選手を輩出!—

本市と水球競技の歴史は、1964 年の第 19 回新潟国民体育大会（新潟地震の発生により中止）で柏崎が水球競技の会場地に決定したことを契機に、これまで先人の努力の下、脈々と培われてきました。

2010 年、地元の企業スポンサーやサポーターの支援に支えられ、国内初となる水球社会人チーム「ブルボンウォーターポロクラブ柏崎（ブルボン KZ）」が結成されました。2016 年のリオオリンピックでは、日本代表チームに柏崎から 4 人の選手を輩出するなど水球競技を通じて柏崎の活性化に向けた取り組みを進めています。

この度、2020 年東京オリンピックに再び、柏崎から日本代表選手を輩出し、まちを挙げて水球競技を応援する取り組みを推進していくため、(株)トラストバンクが運営するふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」における、クラウドファンディング型のふるさと納税サイト「ガバメントクラウドファンディング®」を活用し「水球のまち柏崎からみんなで水球を元気にしたい!」と題したプロジェクトをスタートしました。

概要

1 実施方法

ふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」が、9 月 27 日から始めた「2020 年」をテーマとした広域連携ガバメントクラウドファンディング®（広域連携 GCF™）に参加。

【その他の参加自治体】

東京都世田谷区、東京都墨田区、長野県松川町、京都府亀岡市、島根県奥出雲町

※参考 URL：ふるさとチョイスプロジェクトページ「水球のまち柏崎からみんなで水球を元気にしたい!」<https://www.furusato-tax.jp/gcf/423>

2 実施時期

平成 30 年 9 月 27 日（木曜日）～12 月 31 日（月曜日）

3 目標金額および具体的な用途

2,000 千円

- (1) 柏崎から 2020 年東京オリンピックの舞台で活躍できる水球選手の輩出をするため、冬季間における練習、県外遠征に対する選手強化に要する経費
- (2) 市内小学校の新 1 年生に贈呈する水球競技をモチーフにデザインしたランドセルカバーの制作

4 寄付者への対応

返礼品は贈呈せず、書面によるお礼と用途の報告を行います。